



茨城県・筑波山(2021年9月、筆者撮影)

美の旅

嶋田拓哉

山に囲まれて育った私にとって、山はいつもそこにあるものの象徴であり、自然の美しさや怖さ、生命の尊さを教えてくれる存在だった。

今、私の一番近くにある山がこの筑波山である。

万葉集に詠まれるほど有名な筑波山と、名前のない故郷の山々を比較するのはおかしな話であるが、私にとって山であることに変わりはない。

大学に通う電車の窓から見える筑波山を眺めながら故郷に思いを馳せる時間が私の癒しとなっている。

(准教授・文芸メディア)

文芸入門E

中本恭平

はじめに、三年生と四年生に説明します。2020年度の入学から、「文芸入門A」D」という必修科目ができました。本稿はその番外編なので「文芸入門E」です。

文芸学部とはどんな学部か

今回は、文芸学部をつくった先生方を講師としてお招きし、文芸学部とはどんな学部かということについてお話を伺います。

「この大学にもあった文学部ではなくて、日本の大学で初めての『文芸学部』を創ろうとする考え方は斬新なものでした。…文芸学部の教育の目的と使命は、文学部に渡って、高度の教養を与えるべく、総合的に立って観賞・批評・創作力を養うと共に、文学・芸術各専門職業に必要な技術の理論・演習を修得せしめ、特に出版・放送事業に適する有能な人材を育成することにある。」(遠藤慎吾氏、「文芸学部報」五号、1970年)

版・放送事業に適する有能な人材を育成することにある。」(遠藤慎吾氏、「文芸学部報」五号、1970年)

「東横線が東京十横浜であるように、文芸学部は文学十芸術の学部だと思っていた人が多いのではないかと思えます。でも違うんですね。実は芸術が中心に据えられている学部なのです。」

文芸学部のジレンマ

「文芸学部の『文芸学』は、今までの日本で文学とか芸術学とか云われていた概念とは違ったものを意味しようとしているのです。…各々の学生の特質や希望により、日本文学、英文学、仏文学、劇芸術、造形芸術などに中心をおきながら、広い芸術的教養を身につけた女性を育てようとしています。そういう中心を求めずに、広い教養主義に徹しようとする学生のために、文芸教養コースが設けられている。」(同氏、同号)

「『広い芸術的教養を身につける』ことが、文芸学部の目的です。しかし、創世期からジレンマに悩まされてきたようです。『課目(ママ)の連関性などは考えずに、単位の取りやすい課目ばかり選ぶという傾向が出てきました。…学生がやたらに教員資格を取りたがるのですが、…国語とか英語とかの基礎学力が欠けていて、…こんな状況で教員免許状を出すのは困るといって声が起こって来(た)。…六つのコースに分けるやり方は、学生の学力をあげる効果はありませんが、本学部創設時からの理想である教養大学としての性格と矛盾する。』(同氏、同号)

「文芸学部は『広い芸術的教養を身につける』学部であるはずなのに、広く浅くでは困る。さりとて特定の学問領域に重点を置く」と、深く狭くでこまれた困る。文芸学部の矛盾は、領域・専修と名を変えた今もまだ続いています。『コース』の決定は、一年次の成績と決定試験の結果とを勘案して行われます。』(同氏、同号)

「卒業後、必要やむをえなければ専門による勤労者になる者もあるけれども、結局は、家庭人、社会人として、従来の女性よりも高度でそして広い教養を身につけた女性となるための学部(である)。…決していわゆる花嫁学校ではない。同時にまた、表面だけは専門化した既存の女子大学の垂流ではない。」(新関良三氏、十八号、1973年)

教養を奪いがたく身につける

「奪いがたく身につけた」という力強い表現に、学部創設者の意気込みを感じます。『演技、演出、舞台、劇場などにひろく跨った研究と講義。私はそうした演劇学の講座がほしかった。』(大学院演劇学専攻もまた日本最初のものだった)同氏、同号)

「演劇は、観客なしには存在しない。生身身を舞台にさらす俳優にとつては、観客の直接の反応が、なにより支えとなる。…ちかごろのお義理と情性の拍手・アンコールからは、よい芝居は創造されない。』(藤木宏幸氏、三十三号、1977年)

大阪の漫才師は、新世界の寄席に来る、笑いに厳しい観客に育てられるという話を思い出します。『大学は、…学問の場だということをしっかりと語り言っておきたいと思えます。それがどんなに非現実的に響こうとも、学問抜きにしては大学は存在しません。学生は一義的に学ぶ者であるし、教師は何よりもまず研究者であるべきだと考えます。すべてはそこから出発する。』(友部直氏、三十四号、1978年)

大学とは何か

「大学は、…学問の場だということをしっかりと語り言っておきたいと思えます。それがどんなに非現実的に響こうとも、学問抜きにしては大学は存在しません。学生は一義的に学ぶ者であるし、教師は何よりもまず研究者であるべきだと考えます。すべてはそこから出発する。』(友部直氏、三十四号、1978年)

「『教養』とは何か 文芸学部の重要キーワードは「教養」です。教養とは何か。残念ながら、今回の番外編ではその答えは見つかりませんでした。私自身が考える「教養のある人」とは、他者が思いつかないキラッと光る疑問を持つことができ、その疑問に自分で答えが出せる人です。そして、発想の柔軟さもまた、文芸学部人には必要です。」

文芸学部の現在と未来

文芸学部の現在と未来をつくる

共立女子大学文芸学部報

共立女子大学文芸学部報 第139号
発行日 2021年10月20日
編集・発行 共立女子大学 文芸学部
〒101-8437 東京都千代田区一ツ橋2-2-1
発行責任者 深津謙一郎
創刊 1968年12月
題字 遠藤慎吾
第二代文芸学部長

学部報に関するご意見・ご感想を以下のメールアドレスまでお寄せください。
gakubuh@kyoritsu-wu.ac.jp

学部報は共立女子大学公式HPの「文芸学部」のコーナーでもお読みいただけます。



第139号 主目次
第1面 トップエッセイ 美の旅 大学随想 特集 私にとつての文学と芸術 卒業生コラム 心象点描 第4面 各セクションから

〈今号の一言〉
「興味や関心という光源によって透き通り、自分で感じた面白さを他の人にも伝えられるような力」 (川崎)

大学随想

小学生の頃から歴史は好きでしたが、文学と芸術は嫌いでした。読書感想文に指定された名作の主人公はみんなネクラで悩んでばかりで意味がわかりません。音楽と絵画の実技は幼児レベルで止まったままでした。心配した両親に音楽教室や油絵教室に通わされましたが、他の子たちが魔法使いに見えました。

「学生たちも(保証人などの)学部関係者も、この学部報をよく読んで文芸学部の現状を正確に知っていたら、将来の発展のために協力していただきたい。」(遠藤慎吾氏、創刊号、1968年)
文芸学部報は文芸学部のよき伴侶です。(教授・英語英米文学)

「思い返すと、小学生の頃はポプラ社の『平家物語』や『太平記』を夢中で読んでいました。軍記物語を読んで「歴史は面白い」と思いついたのですが、父親は「それは文学だ」と言っていました。ここで道を間違えてしまったのです。音楽と美術も「実技はダメでも鑑賞は好き」ともっと早く気づくべきだったかな。思い込みの激しい性格がアダになったようです。現在では、あんなに信じていた古文書に見向きもせず、せつせと物語と絵画を調査しています。授業資料も以前は文字ばかりだったのが、ビジュアルになりました。文学や芸術作品も織り交ぜて、少しは文芸学部の教員らしくなりました。オンライン研究会終了後の雑談で、「文学が美術を研究すれば良かった」と打ち明けたところ、「古文書だけが正しい」と一蹴されました。「間違った」と思ったのが、実は間違っていました。(堀新・教授・文芸教養)



日本初の文芸学部はこちらです(本館1階案内板)

文学の中の音楽

岡田 ひろみ

紫式部は現代の我々を『源氏物語』の読者として想定したのでしょうか。もしかすると百年後の人々のことくらいは考えていたかもしませんが、千年後まではまあ考へませんよね。

今、私は千年以上も昔に書かれた作品である『枕草子』や『源氏物語』を面白いと思って読み、その表現や方法を研究している。

さあ、歌いましょう！

池上 公平

ルネサンスに印刷本が登場する以前、書物は手書きの写本であった。豪華な装飾を施した写本は美術史の重要な研究分野であるが、その中には教会や修道院で歌われる聖歌の楽譜も含まれる。このような楽譜は欧米の各地に現存するが、日本にもあり、そのうちの1点が専修大学図書館に所蔵されている。

10年ほど前、その専修大学の公開講座で講演をする機会があった。

「ダンスを見たことはありませんか？」「ない」と言う方はいないでしょう。では、ダンス作品を鑑賞したことはありませんか？ 今度「ある」という答えはだいぶ減るのではないのでしょうか。

ダンスは、私たちの生活に入り込んでいます。古くから人々は神事や共同体の絆を強める目的で踊り、やがてヨーロッパの宮廷文化の発達に伴いダンスは政治的な機能を帯びました。踊り手の知性と優美さを証明するゆえ、ダンスは王侯貴族に必須の教養になり、音楽や詩を融合した舞踊作品が祝

ダンス史、ダンス詩？

岡見 さえ

は約300の舞踊学校があったと言います。その後ダンスはルイ14世の命令で芸術として整備され、実践と鑑賞の二系統に分かれて発展しました。



追悼・大島利治先生

田口 亜紀

大島利治先生の足跡をたどることは、仏文コース史を繙くことにもなる。昭和三八(一九六三)年、河盛好蔵先生(一九〇二)初めは雅楽演奏会(宮内庁職業を担当されていた。その先生が師事したのが皆川達夫氏である。講演では、専大図書館所蔵の楽譜のコープが配られ、グレゴリオ聖歌について簡単な説明の後、楽譜の読み方が説明された。

(教授・日本語日本文学)

先生は最近まで共立でも音楽の授業を担当されていた。その先生が師事したのが皆川達夫氏である。講演では、専大図書館所蔵の楽譜のコープが配られ、グレゴリオ聖歌について簡単な説明の後、楽譜の読み方が説明された。

(教授・造形芸術)

この後者が、現代のダンス公演に繋がっています。一見非常に異なりますが、コンテンポラリーダンスも後者、バレエの末裔です。20世紀になると、身体に不自らに詩的・哲学的なフランス、社会的・演劇的なイギリス、表現主義的なドイツ、フィジカルなイストラエルなど、現代ダンスには地域的特性も見られます。

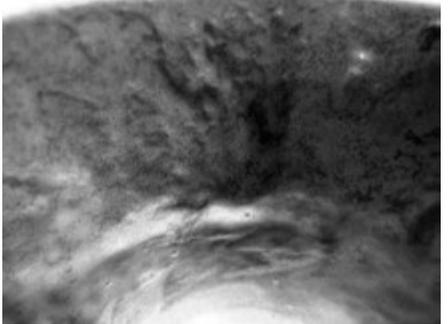
(准教授・フランス語フランス文学)

心象点描

記憶の痕跡

上野 慎也

昔取った杵柄——は疾うの昔に故山の廃屋で朽ちてしまっただろうが、身体が憶えているとはよく言ったものである。水泳、自転車、逆上がり。年寄りの冷や水も、肉体に刻印された過去がなければ始まらない。



日延べと決まったらいい。いや、膝鏡では手鏡ほどの御利益(?)は望めないということか。忘れていた記憶、甦らない記憶がある一方で、拭いても拭いても拭い去ることのできない記憶もある。白っぽい石を積んだ円形の塔は、それほど高くもなく、直径も知れ

(教授・文芸教養)

二〇〇〇の構想の下に創設された仏文コースで、大島先生は当初から二〇〇二年にご退職になるまでの三十九年間、運営を担ってこられたからである。

学園理事としても、作家・評論家としてもご多忙の河盛先生に代わって、一九六九年から主任を務め、実質的に仏文コースの中心だった。

大島先生は文芸学部のみならず、文学芸術研究所所長、総合文化研究所神田分室長、そして、共立女子学園図書館長を歴任し、学園の運営にも奇与された。

ラシーヌ、モリエール等のフランス古典主義文学を軸に、広い視野で仏文学の研究に携わった。仏和辞典の編纂、そして同僚の河盛先生と、ロングセラーになる仏文学史の本を編み、河盛先生編の筑摩書房刊『世界人生論全集』に協力した。すなわち数多くの翻訳によっても日本における仏語・仏文学の発展に多大な貢献をなされたことになる。

同僚だった武藤剛史先生は大島先生を、「細やかな注意力」の持ち主、温厚で、「歴代の助手さんの誰しもが、そのような先生のことになる。」

フランスの豊穡な風土と多様な文化を体現されていた大島先生のご冥福をお祈りいたします。(教授・フランス語フランス文学)

研究室から

日本語日本文学

皆さんは「透明」という言葉にどんなイメージを持っているでしょうか。宮沢賢治は自身の作品の中で何度も「すきとほつた」空気や風を描き出し、更には「種山ヶ原」下書稿(一)で、「あ、何もかももうみんな透明だ」、「じつにわたくしは水や風やそれらの核の一部分でそれをわたくしが感ずることは水や光や風せんたいがわたくしなのだ」のように、その透明な自然と同化するような心象を綴っています。

英語英米文学

また村上龍の『限りなく透明に近いブルー』では、ラストシーンで主人公のリユウが夜明けの空気に染まる透明なガラス片を見ながら、このガラスのように自分が自分に映るものを他の人々にも見せたいと考えます。

この二人の作風は全く異なっていますが、どちらも透明な情景を描き、また自身を透過させることで、同じものを読者にも見せよ学校勤めのせい、夏休みに関係しては、比較的恵まれているほうだ。一昨年末までは、どんなに仕事を立て込んでいても、最低二、三日はねん出してあちこち旅行に出かけていた。

事前のプランニングもまた楽しい。費用は一日いくら以内とか、同じルートは二度通らないとか、そんな縛りを勝手にかけて、あれやこれやとプランを練る。試行錯誤の末、それなりのプランが完成すると、旅行の八割方が終わった気分になる。

とはいえ、旅行の醍醐味はプランニングにあるかと言えば、そうではない。強引な喩えかも知れないが、旅行と授業はよく似ている。

学生の皆さんは演習やゼミで発表を行う機会があると思います。ぜひ興味や関心という光源によって透き通り、自分で感じた面白さを他の人にも伝えられるような力を培ってください。

九月に英語オンラインレッスンを開催しました。本来であれば、福島県にある語学教育機関への研究旅行を予定していましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響を受けて、学内での日帰りオンラインレッスンに変更となりました。

当日のレッスンでは、大学のパソコンを一人一台使用して、語学教育機関プリティッシュヒルズのオンラインレッスンを三つ受講した後、英文教員によるオリジナルセッション一つを行いました。

その中で特に興味深かったのが、オリジナルのイギリス旅行プランを立てたレッスン(「Ireland in the UK」)です。イギリスの重要な歴史や事実を学びながら、プラン通りに進むこと自体、決して悪い気はしないのだが、あとで振り返って心に残っているのは、プラン通りに終らなかったケースである。

うとしています。

このツアーは一〇月と十一月にも実施され、第二回は同じく「革命」をテーマに地方都市のリヨンとトゥールーズを見学し、第三回は「プリミティブアートから見る芸術文化保有の歴史」をテーマに、リヨン近郊オートリヴのシュヴァルの理想宮を見学しました。

フランス語フランス文学

フランス革命をテーマに様々なイベントが行われました。

七月には革命記念日を祝うパーティー「パリ祭」が実施され、フランス語を学ぶ学生に加え、フランス語圏出身の留学生や、教員が集まりました。現代のフランスでの記念日の祝われ方や、パリで活躍した写真家が記録した写真や、映画のワンシーンなど、様々なテーマからパリ祭が紹介され、フランス文化について知識を深める機会となりました。

さらに同月に、フランスオンラインツアーも実施されました。現地ガイドの案内によりフランス革命の史跡を辿りながら、首都パリの美しい街並みや歴史的建造物を堪能しました。

初めまして。新任助手の平野真実です。今年の春に大学を卒業して、多摩ニュータウンにある実家から毎日共立に通っています。七月現在、半期がそろそろ終わりで、今年度は日本美術史、西洋美術史、彫刻の四つのゼミ揃ったところなんです。

大学院で勉強を続けたいと考えている学部生に朗報があります。なんと、大学院の入学金が免除になるのです。この機会を利用しない手はありません。

文芸学研究科には、日本文学、英文学、演劇学、文芸学の四つの領域があります。最後の文芸学領域は、学部の仏文、造形芸術、文芸教養と文芸メディアが合同で運営しているため、ここでは横断的に学ぶことができます。

も文芸学研究科自体、四つの領域をまたいで、自由に授業を受けられます。少人数クラスが特徴です。これに加えて、大学院の魅力は、好きなことをとことんまでつぎつぎと学べる環境と、それに対する

だんだんと助手の仕事にも慣れてきたところなんです。

物、パティスリー等をライブ配信で見学しました。

このツアーは一〇月と十一月にも実施され、第二回は同じく「革命」をテーマに地方都市のリヨンとトゥールーズを見学し、第三回は「プリミティブアートから見る芸術文化保有の歴史」をテーマに、リヨン近郊オートリヴのシュヴァルの理想宮を見学しました。

劇芸術

初めまして。新任助手の平野真実です。今年の春に大学を卒業して、多摩ニュータウンにある実家から毎日共立に通っています。七月現在、半期がそろそろ終わりで、今年度は日本美術史、西洋美術史、彫刻の四つのゼミ揃ったところなんです。

大学院で勉強を続けたいと考えている学部生に朗報があります。なんと、大学院の入学金が免除になるのです。この機会を利用しない手はありません。

文芸学研究科には、日本文学、英文学、演劇学、文芸学の四つの領域があります。最後の文芸学領域は、学部の仏文、造形芸術、文芸教養と文芸メディアが合同で運営しているため、ここでは横断的に学ぶことができます。

も文芸学研究科自体、四つの領域をまたいで、自由に授業を受けられます。少人数クラスが特徴です。これに加えて、大学院の魅力は、好きなことをとことんまでつぎつぎと学べる環境と、それに対する

だんだんと助手の仕事にも慣れてきたところなんです。

造形芸術

本コースでは、卒業論文・卒業制作に資することを目的として、三年生を主な対象にゼミ研究旅行を行っている。

文芸教養

二〇二一年度の新一年生から、文芸学部では「四領域制」が取られるようになり、「文芸教養」が

在す知らなかったという人もけっこう多いのです。また、大学院に行く就職活動で不利になるという話はありません。それは卒業が大学が大学院かという問題ではなく、個人の問題です。大学院修了後に就職を希望した先輩たちは就職しています。

興味を持ったなら、迷ったら、ゼミの先生、担任、コースの助手に相談してみましょう。学力試験なしで大学院進学が決まる、学内推薦もあります。三年生以下は、来年度以降、募集や大学院説明会のお知らせに気をつけてください。気楽な気持ちで説明会に足を運んでください。

先生は普通四年しか在籍しないから、その間に接した、ごくわずかな教員しか知りえない。その記憶も卒業して年月が経てば自然と薄れていってしまう。共立でも数年前からホームカミングデイというイベントを始めたが、校舎も変わり、見知らぬ先生もいなければ、なつかしの母校に戻ったという気持ちはなれないだろう。

教員のほうも、この十年くらいで、大幅に入れ替わった。かつての八王子キャンパスを知る人はほんの少数であり、「高尾返し」とか「薫像前」とかいいう学生言葉もはや死語である。

皆さん初めまして。今年度より文芸メディア領域・メディア専修の助手に就任した、碓塚朋かきつ(とも)と申します。

私は昨年、共立女子大学を卒業しました。大学では司書の資格を取得し、卒業後は司書の資格で興味を持った児童書について執筆しました。またイラストを描くことが得意です。どうぞよろしくお願いたします。

学生として四年間通っていた場所も、助手という新しい立場になると、大学の見え方が、少し変わったような気がします。

文芸メディア

皆さん初めまして。今年度より文芸メディア領域・メディア専修の助手に就任した、碓塚朋かきつ(とも)と申します。

文芸メディア

私は昨年、共立女子大学を卒業しました。大学では司書の資格を取得し、卒業後は司書の資格で興味を持った児童書について執筆しました。またイラストを描くことが得意です。どうぞよろしくお願いたします。

学生として四年間通っていた場所も、助手という新しい立場になると、大学の見え方が、少し変わったような気がします。

皆さん初めまして。今年度より文芸メディア領域・メディア専修の助手に就任した、碓塚朋かきつ(とも)と申します。

私は昨年、共立女子大学を卒業しました。大学では司書の資格を取得し、卒業後は司書の資格で興味を持った児童書について執筆しました。またイラストを描くことが得意です。どうぞよろしくお願いたします。

学生として四年間通っていた場所も、助手という新しい立場になると、大学の見え方が、少し変わったような気がします。

皆さん初めまして。今年度より文芸メディア領域・メディア専修の助手に就任した、碓塚朋かきつ(とも)と申します。

私は昨年、共立女子大学を卒業しました。大学では司書の資格を取得し、卒業後は司書の資格で興味を持った児童書について執筆しました。またイラストを描くことが得意です。どうぞよろしくお願いたします。

学生として四年間通っていた場所も、助手という新しい立場になると、大学の見え方が、少し変わったような気がします。

学部長から

学部長から

旅は風まかせ、という言葉もよく聞かれます。少くとも私に言わせれば、行き当たりばったりでは、いい加減には収まらないようだ。

学部長から

旅は風まかせ、という言葉もよく聞かれます。少くとも私に言わせれば、行き当たりばったりでは、いい加減には収まらないようだ。

旅は風まかせ、という言葉もよく聞かれます。少くとも私に言わせれば、行き当たりばったりでは、いい加減には収まらないようだ。

旅は風まかせ、という言葉もよく聞かれます。少くとも私に言わせれば、行き当たりばったりでは、いい加減には収まらないようだ。

旅は風まかせ、という言葉もよく聞かれます。少くとも私に言わせれば、行き当たりばったりでは、いい加減には収まらないようだ。

旅は風まかせ、という言葉もよく聞かれます。少くとも私に言わせれば、行き当たりばったりでは、いい加減には収まらないようだ。

旅は風まかせ、という言葉もよく聞かれます。少くとも私に言わせれば、行き当たりばったりでは、いい加減には収まらないようだ。

旅は風まかせ、という言葉もよく聞かれます。少くとも私に言わせれば、行き当たりばったりでは、いい加減には収まらないようだ。

旅は風まかせ、という言葉もよく聞かれます。少くとも私に言わせれば、行き当たりばったりでは、いい加減には収まらないようだ。

大学院から

大学院から

旅は風まかせ、という言葉もよく聞かれます。少くとも私に言わせれば、行き当たりばったりでは、いい加減には収まらないようだ。

大学院から

旅は風まかせ、という言葉もよく聞かれます。少くとも私に言わせれば、行き当たりばったりでは、いい加減には収まらないようだ。

旅は風まかせ、という言葉もよく聞かれます。少くとも私に言わせれば、行き当たりばったりでは、いい加減には収まらないようだ。

旅は風まかせ、という言葉もよく聞かれます。少くとも私に言わせれば、行き当たりばったりでは、いい加減には収まらないようだ。

旅は風まかせ、という言葉もよく聞かれます。少くとも私に言わせれば、行き当たりばったりでは、いい加減には収まらないようだ。

旅は風まかせ、という言葉もよく聞かれます。少くとも私に言わせれば、行き当たりばったりでは、いい加減には収まらないようだ。

旅は風まかせ、という言葉もよく聞かれます。少くとも私に言わせれば、行き当たりばったりでは、いい加減には収まらないようだ。

旅は風まかせ、という言葉もよく聞かれます。少くとも私に言わせれば、行き当たりばったりでは、いい加減には収まらないようだ。

旅は風まかせ、という言葉もよく聞かれます。少くとも私に言わせれば、行き当たりばったりでは、いい加減には収まらないようだ。

編集後記

編集後記

今号には、大島先生の訃報が掲載された。先生は、平成二十四年度にご退職から、もう二十年近く経つ。訃報に接したことがある者としては感慨深い。緑もゆかりもなければ、そして、学部だけの歴史に興味があれば、それだけのことで終わってしまう。はたしてそれでよいものか。第一面の中本先生の文章には、過去の学部報の記事がいくつも引用されている。聞けば、暇な折に読み返している。そう。紙の記録である学部報は、そういう振り返りをしやすくしてくれる。興味さえあれば。

編集後記

今号には、大島先生の訃報が掲載された。先生は、平成二十四年度にご退職から、もう二十年近く経つ。訃報に接したことがある者としては感慨深い。緑もゆかりもなければ、そして、学部だけの歴史に興味があれば、それだけのことで終わってしまう。はたしてそれでよいものか。第一面の中本先生の文章には、過去の学部報の記事がいくつも引用されている。聞けば、暇な折に読み返している。そう。紙の記録である学部報は、そういう振り返りをしやすくしてくれる。興味さえあれば。

今号には、大島先生の訃報が掲載された。先生は、平成二十四年度にご退職から、もう二十年近く経つ。訃報に接したことがある者としては感慨深い。緑もゆかりもなければ、そして、学部だけの歴史に興味があれば、それだけのことで終わってしまう。はたしてそれでよいものか。第一面の中本先生の文章には、過去の学部報の記事がいくつも引用されている。聞けば、暇な折に読み返している。そう。紙の記録である学部報は、そういう振り返りをしやすくしてくれる。興味さえあれば。

今号には、大島先生の訃報が掲載された。先生は、平成二十四年度にご退職から、もう二十年近く経つ。訃報に接したことがある者としては感慨深い。緑もゆかりもなければ、そして、学部だけの歴史に興味があれば、それだけのことで終わってしまう。はたしてそれでよいものか。第一面の中本先生の文章には、過去の学部報の記事がいくつも引用されている。聞けば、暇な折に読み返している。そう。紙の記録である学部報は、そういう振り返りをしやすくしてくれる。興味さえあれば。

今号には、大島先生の訃報が掲載された。先生は、平成二十四年度にご退職から、もう二十年近く経つ。訃報に接したことがある者としては感慨深い。緑もゆかりもなければ、そして、学部だけの歴史に興味があれば、それだけのことで終わってしまう。はたしてそれでよいものか。第一面の中本先生の文章には、過去の学部報の記事がいくつも引用されている。聞けば、暇な折に読み返している。そう。紙の記録である学部報は、そういう振り返りをしやすくしてくれる。興味さえあれば。

今号には、大島先生の訃報が掲載された。先生は、平成二十四年度にご退職から、もう二十年近く経つ。訃報に接したことがある者としては感慨深い。緑もゆかりもなければ、そして、学部だけの歴史に興味があれば、それだけのことで終わってしまう。はたしてそれでよいものか。第一面の中本先生の文章には、過去の学部報の記事がいくつも引用されている。聞けば、暇な折に読み返している。そう。紙の記録である学部報は、そういう振り返りをしやすくしてくれる。興味さえあれば。

今号には、大島先生の訃報が掲載された。先生は、平成二十四年度にご退職から、もう二十年近く経つ。訃報に接したことがある者としては感慨深い。緑もゆかりもなければ、そして、学部だけの歴史に興味があれば、それだけのことで終わってしまう。はたしてそれでよいものか。第一面の中本先生の文章には、過去の学部報の記事がいくつも引用されている。聞けば、暇な折に読み返している。そう。紙の記録である学部報は、そういう振り返りをしやすくしてくれる。興味さえあれば。

今号には、大島先生の訃報が掲載された。先生は、平成二十四年度にご退職から、もう二十年近く経つ。訃報に接したことがある者としては感慨深い。緑もゆかりもなければ、そして、学部だけの歴史に興味があれば、それだけのことで終わってしまう。はたしてそれでよいものか。第一面の中本先生の文章には、過去の学部報の記事がいくつも引用されている。聞けば、暇な折に読み返している。そう。紙の記録である学部報は、そういう振り返りをしやすくしてくれる。興味さえあれば。

今号には、大島先生の訃報が掲載された。先生は、平成二十四年度にご退職から、もう二十年近く経つ。訃報に接したことがある者としては感慨深い。緑もゆかりもなければ、そして、学部だけの歴史に興味があれば、それだけのことで終わってしまう。はたしてそれでよいものか。第一面の中本先生の文章には、過去の学部報の記事がいくつも引用されている。聞けば、暇な折に読み返している。そう。紙の記録である学部報は、そういう振り返りをしやすくしてくれる。興味さえあれば。